

- 奥州市は、市町村合併により広大な市域となったことに加え、都市機能誘導区域に設定している3地域間の移動距離が長いことから、地域公共交通の重要性は高まっている。
- このため、市街地の変遷や公共施設への移動需要の変化等を踏まえ路線を再編し、利便増進を図り利用者の拡大を目指す。

事業の内容・効果

① 水沢駅への乗り入れ【対象路線：水沢コミュニティバス】



③ ニュータウン・商業施設への路線の延伸【対象路線：胆沢病院線（水岩線）】



② Zホールや水沢図書館、商業施設等への路線の延伸【対象路線：水沢前沢線】



水沢駅東口側の施設へと起終点を変更
⇒前沢や水沢中心部から施設へのアクセス性を向上し、買い物等における利便性を向上

桜屋敷ニュータウンやイオンスーパーセンター水沢桜屋敷店付近へ延伸
⇒ニュータウンから中心部への移動機会の創出や、商業施設への移動需要などの取り込みに寄与